

# 第99回 日本児童文学学会 中部例会(9月例会)

## ご案内

第99回 日本児童文学学会中部例会を下記の通り開催いたします。お忙しいことと存じますが、ぜひご参加いただきますようご案内を申し上げます。

### 参加方法

- 本例会はZoomを使用いたします。  
※Zoomのアカウントをお持ちでない方は、お手数ですがご自身で上記のリンクの「サインアップは無料です」よりご登録ください。  
※当日、参加者の方に複雑な操作をしていただくことはありませんが、操作やトラブル等に関するご質問に関して対応はできかねます。  
誠に恐れ入りますが、Zoomや通信機器の基本的な操作をご自身でなさることを前提にご参加をお願いいたします。
- 新型コロナウイルス感染防止対策のため、参加をご希望の方はこちらのGoogle Forms (<https://forms.gle/UnD3TJeVDLHKWsfSA>) か右のQRコードから事前登録をお願いいたします。登録締切は8月28日(日)です。
- ご登録いただいた方へ  
※8月30日以降、ご登録いただいたメールアドレスへZoom会議のURLとパスワードを記載した案内メールをお送りいたします。  
ご送付に数日を要する可能性がありますので、ご了承ください。  
※万が一、前日になってもメールが届かない場合は、お手数をおかけいたしますが、入口 ([airiguch@gmail.com](mailto:airiguch@gmail.com)) までご連絡ください。



### 開催概要

日時：2022年9月3日(土) 14:00~16:30 終了予定  
場所：オンラインのビデオ会議 (Zoomを使用して開催)  
※ご自宅などから、ご自身の通信機器を使用してご参加ください。  
※インターネット環境の都合上、ご自宅などからZoomを使用できない場合は、事前にお申し込みをいただき、サテライト会場にお集まりください。  
サテライト会場から参加希望の方は、8月23日(火)までに下記の連絡先へご連絡ください  
(郵送で例会案内をお受け取りの方は同封の葉書にてご連絡ください)。

#### 【事前申し込み先】

名古屋女子大学短期大学部 入口 愛

メールアドレス [airiguch@gmail.com](mailto:airiguch@gmail.com) TEL 052-852-9431 (研究室直通)

サテライト会場：名古屋女子大学 (名古屋市瑞穂区汐路町3-40) 本館210教室  
地下鉄桜通線「瑞穂区役所」下車 1番出口 東へ300m

## タイムテーブル

- 13 : 45～ Zoom入室  
14 : 00～14 : 05 開会あいさつ  
14 : 05～14 : 45 研究発表 中西 由香里 (愛知淑徳大学大学院)  
(発表30分、質疑応答10分)  
14 : 55～16 : 25 講演 藤井 弓子 (人形劇団もぐら)  
16 : 25～16 : 30 閉会のあいさつ、諸連絡

## 研究発表

### 言語活動での教員と学校司書の協働—幼小接続期を中心に—

中西由香里 (愛知淑徳大学大学院)

中央教育審議会は、2015年に学校を取り巻く社会的な教育課題を背景に「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について (答申)」を公表している。それと共に同年、「チームとしての学校」を発表した。文部科学省は「チームとしての学校」を実現していくための方策として、専門性に基づくチーム体制の構築を掲げ推進している。このため学校司書は、「チームとしての学校」の専門職員として、これからの学校図書館を担うことが期待されている。

しかしながら、幼小接続期の教員と学校司書との協働はわずかである。そこで、本研究では国際的な観点から言語活動での教員と学校司書 (School Library Media Specialist (以下、「SLMS」)) との協働に着目して、国内の幼小接続期の言語環境の現状を明らかにすることを目的とした。そのため、国内の先行研究に加え、アメリカの教育活動での教員とSLMSの協働による取り組み、スウェーデンの学校図書館の動向を文献調査により検討した。

SLMSは、専門職員として指導的な立場を担い教員と対等な立場で職務分業がなされていた。また、スウェーデンでは、就学前教育段階からSLMSと教員との協働に加え、学校図書館へのアクセスを増やす方向が示されていた。国際的な動向を踏まえ、日本においても就学前教育段階から教員と学校司書との協働が必要であると思われる。

## 講演

### 人形劇「なかよし」を子どもはなぜ好きなのか

藤井 弓子 (人形劇団もぐら)

人形劇は、子ども(観客)の想像力に依拠して成立するものです。人形の顔は変化しないのに、劇の中で人形は、笑ったり、怒ったり、時には泣いたりもします。これは、観ている子ども達の想像力がそのように見せるのです。

人形には、色々な種類のものがあります。今回上演する『なかよし』は、片手使い人形といわれるものです。手軽にできるうえに、動きに柔軟性とスピード感があり、演じ方によって様々な表情を出すことができます。

『なかよし』は、一人で上演する人形劇です。二つの人形を左右それぞれの手にはめ、一人で二役を演じます。同じ人が二役演じるので、二つの人形の性格をはっきりさせることが大切です。一方は、はきはきした言い方やすばい動き、もう一方は、ゆっくりのんびりした言い方というように、演じ方にめりはりや変化をつけ、性格のちがいをはっきりとさせます。

脚本は、かくれんぼ、すもう、つなひきと電車ごっこという三つの遊びで構成されています。子どもにおなじみの遊びなので、観ている子ども達はすぐに入り込むことができ、気持ち

よい笑い声に包まれる作品です。

シンプルな人形、舞台であるからこそ、子ども達は、想像力をふくらませ、登場する人形といっぱい対話をします。『なかよし』は、子ども達の豊かな発達の力を育てる人形劇だと考えられます。

### 会場案内

○ オンラインのビデオ会議（Zoomを使用して開催）

※Zoom会議の詳細は、事前登録いただいたメールアドレスへ後日お送りいたします。

※Zoom会議に参加の際、ご自身のアカウント名を「学会に登録されているお名前」に変更してください。

○ サテライト会場

※インターネット環境の都合上、ご自宅・ご自身の通信機器でのご参加が難しい場合は、サテライト会場をご利用ください。ご利用の場合は事前申し込みが必要です。

※万が一体調がすぐれない場合は、サテライト会場のご利用をお控えくださるようお願いいたします。

### 日本児童文学学会中部支部事務局からのお願い

#### \*会計より\*

2022年度の支部会費 2,000円が未納の方は、納入をお願いいたします。今後も新型コロナウイルス感染症が蔓延する間はオンライン開催の予定です。お手数をおかけしますが、お早めに下記郵便局振込口座に、備え付けの用紙を使って振り込みをお願いいたします。休日でもATMが稼働しているときは振り込みができます。

口座番号：00550-4-52140

口座名称：日本児童文学学会中部支部

(他行からの振込みの場合は、〇五九（ゼロゴキュウ）店 当座 0052140 です。)

日本児童文学学会中部支部  
〒480-1197 愛知県長久手市片平二丁目9  
愛知淑徳大学福祉貢献学部  
青木文美研究室気付  
電話：0561-62-4111（内線2458）